



残暑お見舞い申し上げます

マスクケースのご利用方法

さらなる予防対策に

カバンの中の物とマスクの接触を減らし、感染リスクを減らします。



食事の時に外したマスクの収納に

丈夫な大礼紙だから繰り返し使用できます



暑い口が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染者が全国で増え続ける今、様々な理由で不安な毎日とお察しいたします。そこで、少しでも皆さまの感染予防のご協力ができるよう、外出先で使える紙製のマスクケースをお送りいたします。素材は挨拶状に使われる大礼紙を使用し、マスクをすっぽり入れることができます。お食事など、外す際の置き場所としてお使いいただけたら、我々一同嬉しく思います。夏の疲れが出やすい頃ですので、どうぞご自愛の上お過ごしください。

大礼紙素材

昭和天皇が即位された時に行われた大札の儀式にちなんで作られた和紙



やまがたの味わいだし(浅漬け)

山形県ではポピュラーな常備菜、『だし』をご紹介します。家によって色々な味や具材を楽しむことができます。冷ややっこ、そうめんやそば、白いごはんにもどうぞ！

材料

- ナス……………1本
- きゅうり………2本
- ミョウガ………1本
- 大葉……………3枚
- めんつゆ………適量
- その他好きな夏野菜やがごめ昆布など



1. すべての野菜を5mm角ほどの大きさに切る(ナスは水にさらし、アクを抜く)
2. タッパーやボウルにすべて入れ、めんつゆをかけて1時間ほど冷蔵庫で寝かせたら完成！(野菜の割合やめんつゆの量は好みで)

今月の気づき

セミの鳴き声が徐々に大きくなってまいりました。大学を卒業するまで友人と夏休みは昆虫採集をしていたので、ついクセでセミを探してしまいます。ただ高いところにいるのか、鳴き声は聞こえても全く姿が見えません。よくよく周囲を見れば横浜によくみられる街路樹はカシなど高木が多く、普通の虫取り網では捕獲するのも難しそうです。関東ではよく見られるクマゼミも見つからず、子どもたちがセミ取りをする姿も見かけないので、夏といえばセミじゃなくなったのかなとちょっとだけ寂しいですね。

夏が終わるまでに頑張ってセミを探します！

編集部門 菅原

